

コード	101010201
記入日	H23.6.9

事務事業途中評価表

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	湯川 喜仁

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	観光施設管理事業費
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10101	基本事業名称	魅力ある観光地の創造と推進体制の確立	目コード	3
事務事業コード	1010102	事務事業名称	観光施設管理事業費	細目コード	890
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町観光公園条例	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標							
(対象1) 観光管理施設		(対象指標1) 観光施設24施設							
(対象2)		(対象指標2)							
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）							
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****		各観光施設整備、各海水浴場施設整備、各施設の維持管理・修繕など		①	*****	*****	保守点検回数24回+計画した保守点検回数	*****	
					保守点検回数	24回	100%	24回	平成22年度
				(達成率分析)	計画どおりの施設管理ができた。				
				②					
				(達成率分析)					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）							
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
				①	*****	*****	*****	*****	
					利用可能日数	365日	100%	利用可能日数365日+年間利用日数365日	平成22年度
				(達成率分析)	計画どおりに管理することができ、年間を通して利用することが出来た。				
				②					
				(達成率分析)					

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	施設	96	96	72	24	24			
	②									
成果指標	①	日	1460	1460	1095	365	365			
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	101,363	102,446	81,604	19,759	20,842				
直接事業費 A	千円	90,863	91,946	73,204	17,659	18,742				
人件費 B	千円	10,500	10,500	8,400	2,100	2,100				
内訳	従事職員数	人	1.5	1.5	1.2	0.3	0.3			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	101,363	102,446	81,604	19,759	20,842				

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町有の施設であり、管理は必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	観光振興に直接関わる為、必要である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	事業趣旨どおりである。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	観光振興に寄与している。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	他事業と連携を図ることで、成果向上の余地はある。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	観光振興を図ることが出来ない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	維持管理作業などの他の施設とまとめた管理が可能なものがある。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	施設の老朽化を考えると修繕費などもある為、これ以上削減できない。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	地域住民で行うことが出来れば可能な施設もある。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	現状においては適正である。

改善

改善策	1次評価	妥当性	町有施設であり、観光振興には不可欠である。
		有効性	観光施設の管理を行うことで観光客のニーズを把握することにもつながっている。
		効率性	施設の老朽化を考えるとこれ以上の事業費を削減することは難しいが、地域での管理など今後理解を求めていくことも必要である。
		課題に向けた改善策	各施設の効率かつ経済的な管理方法として、管理業務の一部を地域住民が管理できる範囲内で協力を仰いでいく。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	観光施設の老朽化は観光客離れを起こす要因にもなるためその維持・管理については適正に行うこと。大規模な補修等は計画的に実施すること。また、施設の外観等の補修が完了した場合は広報等を利用したPR等も行うこと。
		効率性	補修等は計画的に行い、維持管理経費の削減に努めること。なた地域住民との協力に関しては具体的に進められるところは実践していくこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。